

平成 30 年度対クック諸島草の根・人間の安全保障無償資金協力
ミチアロ島貯水タンク設置計画の署名式典

2019 年 2 月 25 日、平成 30 年度対クック諸島草の根・人間の安全保障無償資金協力「ミチアロ島貯水タンク設置計画」の署名式がラロトンガ島で行われ、当館の有吉勝秀公使及びツアイネ・ナメツア・ミチアロ島市長が贈与契約書に署名を行いました。

本計画によって、日本は、同地方政府への約 11.5 万 NZドルの支援を通じて、雨水用貯水タンク 10 基および、取水・導水システム、同島内遠隔地用及び火災時の消火用として稼働式水タンク1基等を供与します。同署名式には、トウ酋長やジョン・ウェブ在クック諸島名誉総領事らも同席し、ナメツア同島市長からは、ミチアロ島住民の飲用水、生活用水、さらに島内の遠隔地用の水及び火災時の消火用水が確保されるため、気候変動による影響の軽減に貢献することは確実であり、日本政府及び国民に深く感謝する旨の言葉がありました。



有吉公使(左) ナメツア・ミチアロ島市長(右)



贈与契約署名の様子



ミチアロ島関係者、有吉公使、田中一等書記官ら